

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		施設管理事業（交通安全施設）						予算事業名		施設管理経費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
				02	07	02	05	経常経費					
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分		主要事業			
		安全に暮らせるまちづくり											
		交通安全対策の推進						担当課係等		防災安全課			
事業期間		継続 （ 年度～ 年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
民家や照明等のない暗い通学路に対し、街路灯を設置することで、児童生徒の通学時の交通安全、防犯対策を図る。								通学路の安全確保のため、近くに民家のない暗い街路に街路灯を設置。					
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】					
通学路の安全確保の一環として、街路灯の維持管理を行う。 結城市内（結城市管理）の街路灯を省電力、維持管理が容易で耐用年数が長いＬＥＤタイプに交換する。								児童・生徒 市全体（結城市管理）					
								【事業をとりまく環境の変化】 児童・生徒に対する不審者情報等が増えてきている。また、通学時の安全確保のために街路灯設置の要望が増えている。 蛍光灯は生産、供給が終了に向かっており、ＬＥＤへの交換は、環境面からも急務の課題となっている。					
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】					
通学路の安全確保の一環として、街路灯の維持管理を行う。 結城市内（結城市管理）の街路灯をＬＥＤタイプに交換する。				通学路の安全確保の一環として、街路灯の維持管理を行う。 結城市内（結城市管理）の街路灯をＬＥＤタイプに交換する。				通学路の安全確保の一環として、街路灯の維持管理を行う。 結城市内（結城市管理）の街路灯をＬＥＤタイプに交換する。					
■事業費													
				R02年度		R03年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	403						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	10,127	10,561						
歳入計（千円）				10,127		10,964							
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）							
	10	需用費			6,286	7,006							
	13	使用料及び賃借料			48	48							
	14	工事請負費			3,793	3,910							
歳出計（千円）（Ａ）				10,127		10,964							
伸び率（％）						8.26							
備考	総合計画74ページ、予算書67～68ページ												

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	既設街路灯のＬＥＤ化	基	目標	500.00	600.00	700.00
			実績	614.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	既設街路灯のＬＥＤ使用率	%	目標	40.00	40.00	50.00
			実績	47.20	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	経費節減の意味でも必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市で対応すべきである。
	手段の妥当性	A 妥当である	手段としては一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	予算の範囲の中で、計画的に進めていく。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	設置箇所は市内全域であるが、経費の関係で一部しか対応できない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	通学路の安全確保及び経費節減がなされた。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	予算は限られているが、計画的に進捗している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
予算の範囲の中で、計画的に蛍光灯からＬＥＤへの交換が進んでいる。この事業は、経費節減の意味もあるが、環境問題からの蛍光灯廃止を目指すものであり、社会的にも必要な事業である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
予算の範囲の中で、計画的に実施していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 計画的に通学路街路灯のＬＥＤ化を進め、維持費の削減と安全管理を図る。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	